

全国漢文教育学会

第34回(通算64回)大会

平成30年6月16日(土)・6月17日(日)

【第1日】 公開研究授業

研究協議

於 大妻中学高等学校

史跡研修会

於 五島美術館内 大東急記念文庫

【第2日】 研究発表

特別講演会

シンポジウム

総会

懇親会

於 大妻女子大学千代田キャンパス本館

〈主催〉 全国漢文教育学会

〈後援〉 文部科学省
大妻女子大学
東京都教育委員会
千代田区教育委員会
全国高等学校国語教育研究連合会
漢字文化振興協会

会 員 各 位
大 学 学 長 殿
小・中・高等学校長殿
国語科主任殿

来たる6月16日(土)・6月17日(日)の2日間、本年度の大会及び総会を、大妻女子大学千代田キャンパスにおいて開催する運びとなりました。今大会は第34回(通算64回)の大会となります。

6月16日(土)は、午前中、公開研究授業と研究協議を、大妻中学高等学校にて行います。午後は、史跡研修会を五島美術館内大東急記念文庫にて開催します。

6月17日(日)は大妻女子大学において、開会式の後、午前中、研究発表を、小・中・高校の部と大学の部とに分かれて行います。午後は、文部科学省初等中等教育局視学官大滝一登先生の「高等学校新学習指導要領と言語文化」と題しての特別講演と、「高等学校国語総合における古典教育と言語文化」についてのシンポジウムを予定しています。その後、今年度の総会を行います。

以上のような次第ですので、何卒奮ってご参集下さいますようお願い申し上げます。

平成30年4月20日

全国漢文教育学会会長	石 川 忠 久
第34回大会準備会代表	増 野 弘 幸

「大会要項」

1. 期日

平成 30 年 6 月 16 日 (土)・6 月 17 日 (日)

第 1 日 (6 月 16 日)

第 2 日 (6 月 17 日)

公開研究授業

研究発表

研究協議

特別講演会

史跡研修会

シンポジウム

総会

懇親会

2. 会場

- 公開研究授業
 - 研究協議
 - 史跡研修会
 - 研究発表
 - 特別講演会
 - シンポジウム
 - 総会
 - 懇親会
- 大妻中学高等学校
- 五島美術館内 大東急記念文庫
- 大妻女子大学千代田キャンパス本館
- 本館 2 F 学生食堂「コタカフェ」

3. 主催

全国漢文教育学会

4. 後援

文部科学省・大妻女子大学・東京都教育委員会
千代田区教育委員会・全国高等学校国語教育研究連合会
漢字文化振興協会

5. 申込み・問合せ

全国漢文教育学会事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25 湯島聖堂内
TEL 03-3251-4606 FAX 03-3251-4853
090-1888-9943 (担当：真鍋)

6. 大会準備会

大妻女子大学文学部 増野弘幸研究室
〒102-8357
東京都千代田区三番町 12 番地
TEL：03-5275-6667 (直通)

7. 日程

【第1日】6月16日(土)

◇公開研究授業(10:00～11:30)

会場：大妻中学高等学校8F

受付：10:00～

授業時間：10:40～11:30(50分)

授業者：服部真由美(大妻中学高等学校教諭)

対象学年：高校2年生文系選択クラス「古典B」

使用教材：数研出版『古典B』漢文編

教材：『史記』鴻門之会

◇研究協議(11:40～12:30)

会場：大妻中学高等学校2F会議室

協議時間：11:40～12:30(40分)

司会：塚田 勝郎(前筑波大学附属高等学校教諭)

助言指導：山中 恒己(元明海大学教授)

◇史跡研修会(集合時間13:50)

研修：14:00～16:00

集合場所：五島美術館内 大東急記念文庫エントランス前

場所：五島美術館内 大東急記念文庫閲覧室

【第2日】6月17日(日)

◇会場：大妻女子大学千代田キャンパス本館

受付：9:00～

◇開会式(9:45～10:00) 場所：F432教室

司会進行：大地 武雄(本学会副会長)

開会の辞：安居 總子(本学会副会長)

挨拶：大会準備会代表 増野 弘幸(大妻女子大学教授)

：大妻女子大学学長 伊藤 正直

：全国漢文教育学会会長 石川 忠久

(元二松學舎大学学長)

◇研究発表(10:00～12:00)

〈小・中・高の部〉場所：E454 講義室

(1) 鬼の哭声－杜甫『兵車行』より考える－

若井 典世(静岡県立浜松湖南高等学校教諭)

(2) 漢文教育における参加型授業の在り方

小林 健一(福島県立安積黎明高等学校教諭)

(3) 社会とのつながりを意識した漢文授業の実践

西村 諭(東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭)

司会：菊地 隆雄(元鶴見大学客員教授)

※各会場については、5～6ページの案内図をご参照下さい。

〈大学の部〉 場所：F432 講義室

(1) 「戦前までの日本漢詩についての教養と今日の国語教育
－江戸・明治期の漢詩詞華集から考える－」
合山 林太郎（慶應義塾大学文学部准教授）

(2) 「原始儒教・孔子儒教・朱子学…公理的アプローチ…」
榊原 健一（千葉大学大学院社会科学研究院教授）
中村 聡（玉川大学文学部教授）

(3) 劉向の災異説の一面
南部 英彦（山口大学准教授）

司会：田口 暢穂（鶴見大学名誉教授）

◇記念写真撮影（12：00～12：15） 場所：本館1F 正面玄関

◇昼食（一般）（12：15～13：20） 場所：4F ホール

◇全国理事評議員会（12：15～13：20） 場所：E456 講義室

◇特別講演会（13：30～14：30） 場所：F432 講義室
題 目：高等学校新学習指導要領と我が国の言語文化
講 師：大滝 一登（文部科学省初等中等教育局視学官）
司 会：謡口 明（本学会副会長）

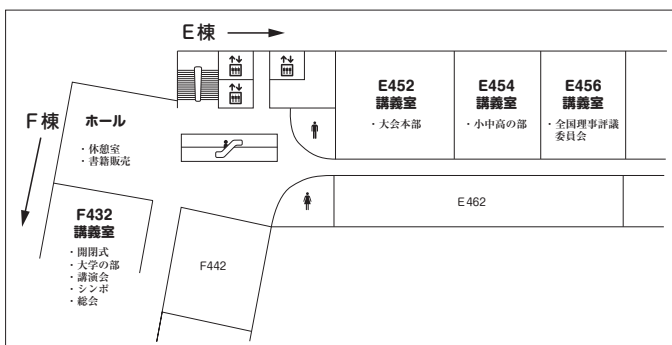
◇シンポジウム（14：45～16：15） 場所：F432 講義室
テーマ：高等学校国語科における古典教育の在り方
シンポジスト：有木 大輔（筑波大学附属駒場中・高等学校教諭）
渡辺 恭子（東京都立戸山高等学校教諭）
船橋 希予（茨城県立三和高等学校教諭）
コメンテーター：大滝 一登（文部科学省初等中等教育局視学官）
コーディネーター：謡口 明（本学会副会長）

◇総会・閉会式（16：30～16：50） 場所：F432 講義室
閉会の辞：中村 聡（玉川大学教授）

◇懇親会（17：00～19：00）
会 場：本館2F 学生食堂「コタカフェ」

※各会場については、5～6ページの案内図をご参照下さい。

●大妻女子大学 千代田キャンパス本館（4F）



《史跡研修先ガイド》

五島美術館内 大東急記念文庫

大東急記念文庫の所蔵品は、東急創始者五島慶太翁が一括購入した「久原文庫」と「井上文庫」を中心としています。これらに随時購入した貴重書を併せ、総数は国宝3点、重要文化財32点を含む約2万5千点。日本有数の特殊文庫の一として、国文学、漢文学、国語学等、国内外のさまざまな分野の研究者に広く利用されています。研修会当日は、担当者に漢籍等を中心に詳しく説明して頂きます。



〒158-8510 東京都世田谷区上野毛 3-9-25

■ 東急・大井町線（各駅停車）「上野毛駅」下車徒歩5分

【参加申込みについて】

◎会場の都合により、締め切り日厳守の上、払込取扱票にて事前にお申込み下さい。

●問合せ先：全国漢文教育学会事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂内
TEL 03-3251-4606 FAX 03-3251-4853
090-1888-9943 (担当：真鍋)

●諸費用

6月16日 (土)	公開研究授業(資料代)	500円
	五島美術館入館料	800円
6月17日 (日)	大会参加費	2,000円
	昼食(弁当)代	1,000円
	記念写真代	500円
	懇親会費	5,000円

〈払込先ゆうちょ銀行振替口座〉

- ・口座番号 00130-8-84978
- ・加入者名 全国漢文教育学会

●申込締切 **6月1日(水)** ※厳守して下さい。

〈備考〉

- ・1日目の公開研究授業では、資料代として500円を徴収します。ただし学生は無料です。
- ・1日目の史跡研修会は、必ず事前にお申込み下さい。
- ・2日目の大会参加費は2,000円、ただし学生は無料です。
- ・特別講演会、シンポジウムは、どなたでも無料でご参加頂けます。
- ・各会場には駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい。

【学会入会のお誘い】

●本学会の沿革

本学会は、その前身である「大学漢文教育研究会」を改組し、「全国漢文教育学会」として昭和59年10月に発足しました。その目的は、漢字漢文教育および漢字文化に関する諸問題を研究し、我が国の漢字漢文教育ならびに漢字文化に関する研究の充実発展を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることです。これらの目的を達成するために、次のような事業を実施しています。

- 1、大会及び総会の開催（年1回）
- 2、講演会・研究発表会の開催（各年1回）
- 3、会誌『新しい漢字漢文教育』の発行（年2回）
- 4、その他、本学会の目的を達成するために必要な諸事業

現在、小・中・高・大学の教員及び本学会の主旨に賛同する者710名余り（平成30年3月末日現在）で組織されている全国的組織です。

★会員特典（主なもの）

- ① 会誌への投稿、大会等における発表
- ② 会誌『新しい漢字漢文教育』年2回の配布
- ③ 講演会・研究発表会・各種講座等のご案内
- ④ 漢文教育研修会受講料の割引

【会 員】会員の種類と会費は次の通りです。

- 通常会員（年額 5千円）
- 学生会員（年額 3千円）
- 賛助会員（年額 8千円）
- 団体会員（年額 5千円）

※ 本学会入会ご希望の方は、10ページにある入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局に送付して下さい。

【過去5年の大会開催校】

第33回	東北大学	平成29年6月11日
第32回	玉川大学	平成28年5月29日
第31回	名古屋大学	平成27年5月31日
第30回	早稲田大学	平成26年6月1日
第29回	明海大学	平成25年6月1日

全国漢文教育学会ホームページアドレス
<http://www.zenkankyo.gr.jp/>

【本学会編集書籍販売のおしらせ】

●学会誌『新しい漢字漢文教育』 研文社 (03-5615-8086)

残部僅少の創刊号を含む本学会の会誌。最新66号まで発刊。バックナンバー（第25号までの書名は『新しい漢文教育』）を随時販売しております。

●『朗唱 漢詩漢文』第一集～第三集

東洋館出版社 (03-3253-8821)

～よみがえる日本語の響き 心に残る名詩名句七七～ 四六判 各1,365円

名詩名句77首に書き下し文と解説・背景説明を加え、切り絵・写真を添えて紹介しています。総ルビなので簡単に声に出して読めます。自分の中の日本語を豊かにし、日本語の文体やリズムを身につけることができます。

●『はじめてであう論語』全3巻 (①家族 ②友だち ③学問)

ちようぶんしゃ

汐文社 (03-3815-8421) A五判 各1,500円+税

小中学校での古典学習を、より充実させるための教材として論語は今、注目されています。「徳育」の観点からも、子どもたちにとってふさわしい教材になるでしょう。本シリーズは、子どもたちに伝えたいメッセージをこめた大切な章句を、原文・書き下し文・やさしい口語訳・わかりやすい具体例と共に紹介します。

●『声に出そうはじめての漢詩』全3巻

(①自然のうた ②旅のうた ③生きかたのうた)

ちようぶんしゃ

汐文社 (03-3815-8421) AB判 各2,000円+税

小学校高学年から読める漢詩の入門書です。「漢詩」とは何か、また、その歴史を簡単に説明し、日本人に古くから親しまれてきた30首のうたを紹介しています。大きな文字の書き下し文で、声に出して読みたくなり、言葉の美しさが楽しめます。

【学会活動今後の予定】 ※詳細については当学会 HP をご覧下さい。

- | | |
|------------|-------------------------|
| ・5月中旬 | 学会誌第66号刊行 |
| ・7月14日 | 7月研究発表会(湯島聖堂) |
| ・7月27日～29日 | 漢文教育研修会・教養講座(湯島聖堂・講堂) |
| ・8月16日～18日 | 漢文教育研修会・教育講座(二松學舎大学3号館) |
| ・11月中旬 | 学会誌第67号刊行 |
| ・12月8日 | 12月講演会(湯島聖堂) |

全国漢文教育学会入会申込書

記入日：平成 年 月 日

- ※本学会入会ご希望の方は、下記の入会申込書に必要な事項をご記入の上、事務局に送付して下さい。
 ※運営委員会において入会が承認されましたら、会誌等を送付致します。
 ※申込記載内容・個人情報、学会事業に関する案内等に使用するもので、それ以外には使用しません。

会員希望種別	通常会員 ・ 学生会員 ・ 賛助会員 ・ 団体会員 (いづれかに○を付けて下さい)	
ふりがな		
氏名	(推薦会員氏名)	有 ・ 無
住所	〒 () - () ※郵便番号は必ずご記入ください。	
電話番号	() () - ()	名簿掲載 可 ・ 不可
所属	(勤務先)	名簿掲載 可 ・ 不可
在学校・専攻	大学	名簿掲載 可 ・ 不可
備考 (通信欄)	学部・院 年生	
事務局記入欄 (この欄は事務局にて記入します)	※北・東・関・中・近・中四・九・外／通常・学生・賛助・団体 ※入会： 年 月 日 ※会員番号： _____ ※受付： 年 月 日	

(送付先) 全国漢文教育学会事務局
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂内
 TEL 03-3251-4606 FAX 03-3251-4853

